

愛の才覚

夢を見た、クリスマスの夜。浜辺を歩いていたら、主と並んで。

砂の上に二人の足が、二人の足跡を残していった。私のそれと、主のそれと。

ふと思った、夢の中でのことだ。

この一足一足は、私の生涯の一日一日を示している。

立ち止まって後ろをふり返った。足跡はずっと遠く見えなくなるところまで続いている。

ところが、一つのことに気づいた。

ところどころ、二人の足跡でなく、

一人の足跡しかないのに。

私の生涯が走馬燈のように思い出された。

なんとという驚き、一人の足跡しかないところは、生涯でいちばん暗かった日とぴったり合う。



苦悶の日、悪を望んだ日、利己主義の日、試練の日、やりきれない日、自分にやりきれなくなった日。

そこで、主のほうに向き直つ

て、あえて文句を言った。

「あなたは、日々私たちと共にいると約束されたではありませんか。なぜ約束を守って下さ

らなかったのか。どうして、人生の危機にあった私を一人で放っておかれたのか、まさにあなたの存在が必要だったときに」

ところが、主は私に答えて言われた。

「友よ、砂の上に一人の足跡しかみえない日、それは私がきみを負ぶって歩いた日なのだよ」

曾野綾子「老いの才覚」

経営者に必要なのは、危機感と問題意識を共有することである。

自分の責任で、清廉で隠し事をせず、見苦しくない経営をする。

失敗したら責任を取る。「誠、名誉、恥」の心、これが武士道です。

NHK大越健介の世論誘導

NHKニュースウオッチ9アナウンサーの大越健介氏に元局長村木さんを冤罪に落とし入れようとした郵政事件報道の反省がない！あからさま過ぎる世論誘導はジャーナリストとしての検証なき官僚の大本営発表広報部員だ。北朝鮮と何も変わらない。悪意にみちみちた大新聞テレビメディア同様の検察びいきのコメントは、NHKの体質でしょう。

日経」と同列では国民にとって不幸です。菅政権に敵対する勢力を攻撃する姿勢で、NHKのすべての番組原稿が作成されています。

報道機関がとるべき姿勢は、表に現れた現象の原因がどこにあるのかを掘り下げて分析すること。その原因、経緯を踏まえて表面に見られる行動、現象を客観的に中立公正の視点から批評することです。

惜しんで、先を考えてなければならぬものです。

そして人は「孤独と絶望」なくして、本当に大成したことにはならないのです。



社長はいつでも、寝る間を

ケチなひと

いない泥棒は最悪の人だ。本来会社は、成長できない限り、存在意義はない。社長はいつでも、寝る間を

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年3月3日(木) NO 173

地域から明るい未来を作ろう

3月は5・12土曜日と13日曜日は通常業務です。ご迷惑かけますが、16日から18日が代休日です。